

飯塚市議会だより

No. 20

2010.9.1

年4回発行：飯塚市議会 〒820-8501 飯塚市新立岩5番5号 電話 22-0214 FAX 28-1251
ホームページ：http://www.city.iizuka.lg.jp/giji/ メールアドレス：giji@city.iizuka.lg.jp

市長就任後

初の定例会を開催

(代表質問7名、一般質問7名)

平成22年第3回定例会を6月14日から7月12日まで開き、市長提出の平成22年度飯塚市一般会計補正予算など18議案、議員提出の意見書案3議案、請願1件、合わせて22件を審議しました。

なお、平成22年度飯塚市一般会計補正予算については、特別委員会を設置して審査しました。

その結果、市長提出議案11件を原案可決、3件を承認、人事議案4件に同意、議員提出議案3件を原案可決、請願1件を継続審査としました。また、陳情5件については、各議員に配付しました。

議決した主な内容は次のとおりです。

市長提出の議案

原案可決したもの

●平成22年度飯塚市一般会計補正予算(第1号)

市長選挙が4月に執行されたため、当初予算では骨格予算を編成しており、政策的な新規事業

や投資的経費等を追加で計上したもので、歳入、歳出にそれぞれ19億8225万3千円を追加するものです。

●平成22年度飯塚市学校給食事業特別会計補正予算(第1号)

伊岐須小学校給食調理室新設工事に伴う経費を補正するもので、歳入、歳出にそれぞれ1390万円を追加するものです。

●飯塚市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

販路開拓支援補助金の交付等に関して調査審議するため、飯塚市販路開拓支援補助金審査会を設置するものです。

●飯塚市特別職の職員等の給料の支給の特例に関する条例

行財政改革の一環として、市長、副市長、上下水道事業管理者及び教育長の給料の減額を実施するものです。

●飯塚市乳幼児医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

子どもの医療費の支給について、対象児童を義務教育就学前から小学

校第3学年修了前に拡大するものです。

議員提出の議案

●発達障がいや、その他文字を認識することに困難のある児童生徒のためのマルチメディアデイジー教科書の普及促進を求める意見書の提出

●未就職新卒者の支援策実施を求める意見書の提出

●永住外国人の地方参政権に関する意見書の提出

これら3件の意見書は各関係大臣、関係機関等に送付しました。

請願

継続審査としたもの

●くらし支える行政サービスの拡充を求める請願

人事議案

公平委員会委員に選任することに同意

大塚 洋一 氏

人権擁護委員に推薦することに同意

吉村 清輝 氏

井手 昭美 氏

岡松 育生 氏

6月定例会における市長提出議案の審査結果

議案番号	議案名	審査結果
6 1	平成22年度飯塚市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
6 2	平成22年度飯塚市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
6 3	平成22年度飯塚市汚水処理事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
6 4	平成22年度飯塚市学校給食事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
6 5	飯塚市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
6 6	飯塚市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
6 7	飯塚市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び飯塚市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
6 8	飯塚市特別職の職員等の給料の支給の特例に関する条例	原案可決
6 9	飯塚市税条例の一部を改正する条例	原案可決
7 0	飯塚市乳幼児医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
7 1	飯塚市違法駐車等の防止に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
7 2	専決処分の承認（平成21年度飯塚市一般会計補正予算（第8号））	承認
7 3	専決処分の承認（平成21年度飯塚市水道事業会計補正予算（第4号））	承認
7 4	専決処分の承認（平成22年度飯塚市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第1号））	承認
7 5	公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めること	同意
7 6～7 8	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めること	いずれも同意

第3回定例会会期日程

- 6月14日(月)
 - ・会期の決定
 - ・行政報告
 - ・各委員長報告、質疑、討論、採決
 - ・平成22年度施政方針説明
 - ・議案の提案理由説明
- 6月25日(金)
 - ・代表質問
- 6月28日(月)
 - ・代表質問、一般質問
- 6月29日(火)
 - ・一般質問
- 6月30日(水)
 - ・一般質問
 - ・議案に対する質疑、委員会付託
 - ・請願の委員会付託
 - ・議会選出各種委員等の選出
- 7月1日(木)
 - ・常任委員会（厚生・経済建設）
- 7月2日(金)
 - ・常任委員会（総務・市民文教）
- 7月5日(月)
 - ・一般会計補正予算特別委員会
- 7月6日(火)
 - ・一般会計補正予算特別委員会
- 7月12日(月)
 - ・委員長報告・質疑・討論・採決
 - ・人事議案の提案理由説明、質疑、討論、採決
 - ・議員提出議案の提案理由説明、質疑、討論、採決
- ・選挙管理委員の選挙
- ・選挙管理委員補充員の選挙
- ・報告事項の説明、質疑
- ・署名議員の指名

代表質問

会派を代表して7名の議員が、市長の平成22年度施政方針に対する代表質問を行いました。その一部を抜粋し、要旨を記載します。

伯楽会

兼本 鉄夫 議員

行政内部の改革について

【議員】行財政改革の一環として、職員を4年間で約100名削減するという人件費抑制の施策が掲げられているが、労働過重の防止や雇用拡大の観点からも、給料の削減を行うことにより職員の削減を抑えることを検討する考えはないか。

【総務部長】行革の目標を達成するためには、職員の数を確保して職員給与を削減するというのも一つの方法であると考ええる。適正な職員数を検討した後、給与の関係についても検討していきたい。

コミュニティバスについて

【議員】バスの利用者数は伸び悩んでおり、国からの補助がなくなれば運行そのものが危ぶまれると考えるが、どのように改善していくつもりなのか。

【企画調整部長】本年度は路線の新設

ダイヤ変更、バス停の新設・移設等の一部変更を行い、若干利用者数は増加したものの、3年間の実証運行後は市の単独費用での運行となり、現行の運行形態を維持することは困難と推測している。今後は課題・問題点を早期に整理・検証するとともに、デマンド交通、乗合タクシー等様々な運行形態について調査・検討を行い、まちづくり協議会などの地域団体やNPO法人等との連携も視野に入れながら改善を重ねていくことで、地域の実情に応じた効果的・効率的な運行を継続していきたい。



コミュニティバス

飯塚クラブC

上野 伸五 議員

職員数の減少と

支所の体制について

【議員】平成26年4月までに職員数を130人ほど削減する予定ということだが、支所における住民サービスが大幅に低下するようなことにならないのか。

【行財政改革推進室長】本庁と支所の役割分担の見直し等を行いながら、組織の見直しも行っていく必要があるが、サービスの低下につながる職員体制はあつてはならないと考えている。

職員の専門化について

【議員】職員数が減る中、多様な住民ニーズに対応するため、今後さらに深い知識が必要になると思うが、どう考えるか。

【総務部長】採用から定年に至る職務期間ごとの配置管理と研修等をリンクさせながら、広範囲な知識と経験を持つスペシャリストとしての職員育成を目指しているところである。

職員採用試験のあり方について

【議員】職員採用に際し、地元在住者に対する配慮については、どう考えるか。

【総務部長】採用試験実施の際、住所地に関しての制限は特に合理的な理由がない限り許されないという指導が県からなされており、市内居住者に限定しての採

用試験実施は難しいものと考えている。
【議員】もちろん、公平性を欠いたり法に抵触することはできないが、飯塚市で育つて良かった・住んで良かったという郷土愛を熟成するためにも地元採用の研究を進めるように要望する。

日本共産党

川上 直喜 議員

行財政改革等について

【議員】齊藤市長1期目の行財政改革は、無駄を温存して住民犠牲を押しつけるものだった。今後は、無駄をなくして住民福祉の増進に寄与していくよう流れを切り換えるべきではないか。

【行財政改革推進室長】事務事業仕分けを活用した行政評価制度の導入を本年度から試行的に実施することとし、市民主体の観点から無駄のない効率的かつ効果的な行財政運営を継続的に進めていきたい。

学校の統廃合について

【議員】学校再編について、地域が大切に行っている小規模学校は守るべきであり、小中一貫教育等に基づいた、小学校と中学校の無理な一体化、さらに公民館や市の出張所まで押し込む多機能化複合化を強引に進め、合併特例債の期限に合わせたスケジュールを優先する考え方は認められない。見解を伺う。

【教育部長】小中一貫校や多機能化複合化については、各施設の地理的なケースによって柔軟な対応が必要であると考えている。また、一般財源の支出が削減できる合併特例債の活用は、市民の負担軽減にもつながると考えている。

子どものための総合的な取り組みについて

【議員】仕事と子育ての両立、経済的負担の軽減や子どもの貧困の解決など総合的な取り組みが必要であり、関係部署が緊密な連絡を取り合う体制を強化できないのか。

【児童社会福祉部長】子どもに関する部局創設に向け検討調整を進めていきたい。

公明党

田中 裕二 議員

観光の振興について

【議員】観光は、点から線にさらに線から面に広げることにより周遊化を図り、経済効果を上げることになる。このための取組みは考えているのか。

【経済部長】一面として確立する観光ルートの中に観光スポットを見つけながら、新たな観光ルートを確立していく必要がある。市内の観光資源だけでは不十分なため、広域的な視野で取組んでいきたい。

女性特有のがん検診について

【議員】子宮頸がんはワクチンの接種に

より、発がんの可能性をかなり低くできる。市で接種を実施できないのか。

【保健福祉部長】国等から補助金を得ることができず市の単費で二千六百万円の支出が必要となるため、現状では厳しい。

【議員】公明党は国は国としての責任で、予防措置を進めるためにワクチン接種と定期的な検診を公費で行う子宮頸がん予防法を参議院に提出している。予防で若い女性の命が助かるわけだから、国、県とも連携して公費負担ができるよう取り組んでほしい。

発達障がい者支援について

【議員】穎田病院に併設予定の療育関連通所施設は、現在どうなっているのか。

【保健福祉部長】来年4月から開設する予定で協議を進めている。

【議員】検診の充実が進んでいる。次は、保護者の理解が得られ、療育につなげられる体制を充実してほしい。

民主党

道祖 満 議員

市営住宅の建て替えについて

【議員】「公共建設物等における木材の利用の促進に関する法律」が公布され、公共の建物については木造に転換していく方針が出されたが、本市では木造で低層の公営住宅を建設する予定はないのか。

【都市建設部長】低層の住宅では現在の

入居戸数を確保することが困難であるため、中高層での建て替えを予定している。

【議員】公営住宅を木造で建設すれば、林業の振興、雇用の確保、環境保全、市内経済の活性化につながる。平成22年度から30年度にかけて建設を予定している相田公営住宅を低層の木造住宅として建設することを検討できないか。

【市長】この件については十二分に理解できるので検討させていただきたい。



市営住宅

留学生増加に向けた支援策について

【議員】留学生500人構想実現に向けた生活環境支援（住居スペース探し支援）についてはどのような取り組みを行うのか。

【経済部長】留学生の居住については、民間アパートへの円滑な入居ができるような支援策を調査・検討していきたい。

【議員】以前、譲渡の話があった独立法人雇用能力開発機構所有の住宅を、留学生の居住スペースにあてるための協議を申し入れてはどうか。

【市長】大学力を活かした地域経済の活性化を目指すうえで、留学生の確保と誘致は非常に大事だと思うので、この件については調査・検討させていただきたい。

市民クラブ

市場 義久 議員

行財政改革について

【議員】補助金の見直し等について予定はあるのか。

【行財政改革推進室長】補助金は市民の税金をもって交付されていることから、市民に開かれた制度にするとともに、できる限り補助金総額の抑制を図りたい。

【議員】時代の流れとともに補助金の形も多様化しており、ただ抑制すれば良いというものではない。防犯灯補助金の交付について十分検討していただきたい。

耕作放棄地について

【議員】耕作放棄地の防止対策としてどのような取り組みをしていくのか。

【経済部長】農業委員会を中心として耕作放棄地対策協議会を新たに設置し、耕

作放棄地の解消に取り組んでいく。具体的にはレンゲや菜の花等の景観作物の奨励とともに、市民農園としての活用を検討していくつもりである。

【議員】農地保全のため、耕作放棄地を増やさない取り組みに努力してほしい。

人権同和教育について

【議員】現在の飯塚市人権同和教育研究協議会には各種団体が参加しているのか。

【生涯学習部長】JA福岡嘉穂のみ参加いただいている。

【議員】合併前の旧町では多数の団体に参加いただいていた。現在の状況では啓発推進体制が不十分であるので、体制の整備について十分検討していただきたい。

【生涯学習部長】既存の協議会等に提案しながら進めていきたい。

新政会

瀬戸 二元 議員

中心市街地活性化策について

【議員】中心市街地活性化基本計画では旧4町の中心市街地との関係について、どのような連携を考えているのか。

【経済部長】活性化策の取り組みの効果が周辺地域に波及し、さまざまな地域の活性化に結びつけることが策定の考え方

であるため、策定にあたっては旧4町に波及するような活性化策を検討したい。

【議員】旧4町が置き去りにならないようにつながりを持った施策を要望する。

学校給食について

【議員】地産地消に取り組む本市において、学校給食に減農・無農薬、無添加食品を取り入れることはできないのか。

【教育部長】価格や流通面等の問題により現給食費の範囲内では困難である。今後、自校方式への移行が進めば地場農産物が利用しやすくなると考えている。

【議員】本市独自の安全な学校給食を提供することで、転入を希望する家庭も増えると思われる、定住促進の一端も担えると考えられるため、ぜひ取り組んでほしい。

スポーツ振興策について

【議員】パークゴルフの専用競技場を整備することはできないのか。

【生涯学習部長】整備については競技人口の動向等を判断しながら検討したい。

【議員】高齢者の生きがいや健康づくりのため、ぜひ前向きに検討してほしい。



一般質問

市の一般事務について、7名の議員が一般質問を行いました。その一部を抜粋し、要旨を掲載します。

梶原 健一 議員

次世代育成支援について

【議員】後期計画策定にあたりパブリックコメントを実施しているが、どのような意見があり、意見は反映されたのか。

【児童育成課長】子育て支援サービスに関するホームページの情報の明確化や内容の充実を求める意見、子育て支援ガイドブックに支援施設や各種サービスの情報掲載を希望する意見、また児童遊園等の遊具やトイレの整備を希望する意見等があり、いただいた意見を参考に計画の推進を図っていく考えである。

【議員】計画目標の達成に尽力し、協働のまち飯塚の具現化が図られ、安心して子育てができる環境整備を要望する。

農業振興について

【議員】援農チャレンジ（農業ヘルパー）制度を導入する考えはあるのか。

【農林課長】農家はシルバー人材派遣センター等に農作業を依頼している現状ではあるが、今後関係機関と協議しながら農業を営む高齢者の助けとなるような農

業ヘルパー制度を検討していきたい。

【議員】早期の制度導入の実現に向けて尽力していただくよう要望する。



楡井 莞爾 議員

学校再編整備計画に関するアンケートについて

【議員】アンケート結果は計画の素案にどのように反映されているのか。

【学校施設等再編整備対策室主幹】一定以下の児童、生徒数の学校は隣接校との統廃合を行うとしていたが、アンケートによる地域住民・保護者等の様々な思いを受け、一定条件を付してその条件を満たす間は存続させる計画に変更している。また通学距離についても小学校を2km、中学校を4kmに見直すなどして

いる。

【議員】説明会などを通じ市民に対して十分に説明を行い、意見・要望等をしつかりと反映してもらいたい。

少人数学級制について

【議員】中学校における少人数学級制導入に関し、どのように考えているのか。

【市長】小学校から中学校への環境の変化に対応できないといったことのないよう、まず中学一年生に対し制度を導入し教師に子どもたちをしつかり見てもらう。そののち財政面も考慮しながら、中学三年生まで進めていきたい。

【議員】「教育とは時代が一切の所有を提供して、次代のためにする犠牲」という言葉があり、これを実践してほしい。

原田 佳尚 議員

生活体験学校における

不登校児童の体験活動について

【議員】不登校児童生徒に対する柔軟な対応が求められる中、本市の不登校問題への対策はどのようになっていくのか。

【学校教育課長】今年度は組織的な対応の充実を目指し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用を奨励し、多くの相談が寄せられている。

また、不登校児童生徒の支援には適切な支援と多様な学習の機会を児童生徒に提



生活体験学校

供することが重要だと考えている。

【議員】生活体験学校で普段できないような体験をするということは、非常にすばらしいことであると思う。この学校に不登校児童生徒を受け入れて、支援策を講じることはできないのか。

【生涯学習課長】体験学校では、新たなプログラムを充実させ、さらに参加者を増やしていくように考えており、現時点では不登校児童生徒を受入れていくということは考えていない。

【議員】行政が何らかの形で施策を講じ、関係団体と連携協力して問題の解決を目指してほしい。

人見 隆文 議員

本市の地域医療について

【議員】地域医療とは何か。

【健康増進課長】地域医療とは医療を通じて社会の民主化、住民自治を推進し、医師と地域住民が手を取り合ってよりよい社会を築いていくことを目指す活動のことである。

【議員】本市の地域医療が抱える課題は何か。

【健康増進課長】平日夜間の初期救急の対応が不十分であること、各種検診における受診率が低いことなどがある。

【議員】この課題解決のためにどのような対応をしているのか。

【健康増進課長】平日夜間の初期救急については、施設及び医師の確保など、関係機関と連携をとり、協議を進めている。受診率の向上に関しては集団検診協議会等で実施・啓発の方法などを協議し、受診率の向上、疾病の予防に努めている。

【議員】これらの課題解決に向け、飯塚医療圏全体で取り組めるような場をつくっていただきたい。

【保健福祉部長】行政、医療機関等が地域医療を研究できる協議の場を設けていきたいと思う。

八兒 雄二 議員

観光行政について

【議員】八木山バイパス無料化に伴い、本市が単なる通過点とならないための対策をどのように考えているのか。

【商工観光課長】本市の魅力を発信し、効果的なPRを行うことが重要であり、観光拠点施設に連続性を持たせ回遊性を強化し、観光客増加を図りたいと考える。



八木山バイパス沿線

学校教育について

【議員】小中一貫教育により中一ギャップを解消する効果が期待できるのか。

【学校教育課長】9年間を通して成長過程における一貫した指導が図られ、系統的、継続的な学習指導により学力向上が

期待できること、異学年間の交流によって豊かな人間性や社会性の育成が図られること等が考えられ、解消に期待できる。

公民館行政について

【議員】今後、自治会の指導、育成にどのように関わっていくのか。

【市民活動推進課長】まちづくり協議会の設置による支援はもとより、行政との関係が希薄にならないように自治会と密接に関わる部署と連携し、自主性や自立性を尊重しながら支援を行いたい。

安藤 茂友 議員

本市教育の充実に向けて

【議員】二瀬中学校や幸袋中学校で行なわれているボランティアや学生など地域の教育力を活用した補充学習の取り組みは、本市の新しい教育モデルとして素晴らしいものであるが、全市に広がらない要因をどう考えるか。

【学校教育課長】この取り組みは地域の教育力、教師の力量に負うところが多いため、各学校では検討課題にとどまっている現状であるが、教育委員会として取り組みの効果を認めているので、全市に広がるよう支援していきたい。

【議員】この取り組みが全市に広がるように、システムづくりも含めてバックアップして欲しい。

【議員】教育目標として目指せ日本一というような大きなものを掲げてはどう

か。特に、学力向上に必要な読解力を身につけるため「読書日本一」の教育目標を掲げ、学力・教育力向上のための環境整備を具現化していくべきではないか。

【学校教育課長】本市の教育で全国に誇れる教育が具現化できるように、今後とも各学校と協力していきたい。



柴田 加代子 議員

通学路の安全確保について

【議員】伊岐須小学校近くの歩道は一部に非常に狭い部分があり、通学時の事故も発生している。安心安全な通学路を守るといふことについてどのように考えているか。

【学校教育課長】各通学路については、学校とPTA等が中心となつて点検、安全確認を行なっていたが、危険箇所、危険状況等の報告を受けている。これらの解消に向けては道路管理者をはじめと

する関係機関と連携して対応しているが、今後も教育委員会として第一に子どもを守るといった観点で鋭意取り組んで行きたい。

【土木管理課長】歩道の整備などを含む街路事業は路線も長く、事業費も多大なことから進捗しない状況であるが、来年度から新規に社会資本整備総合交付金制度も始まることから、歩道の改良について県とも相談しながら進めていきたい。

【議員】全市に気を配ることは大変なことだと理解しているが努力して欲しい。また、危険性が分かっている箇所については早急に改善するよう切に要望する。



伊岐須小学校付近の通学路

第2回臨時会について

平成22年第2回臨時会を5月10日から5月12日まで開き、市長提出の議案8議案を審議しました。

原案可決したもの

●議案第60号 飯塚市市長の給料の支給の特例に関する条例

承認したもの

●議案第53号 専決処分承認（飯塚市条例の一部を改正する条例）

●議案第54号 専決処分の承認（飯塚市国民健康保険条例の一部を改正する条例）

●議案第55号 専決処分の承認【訴えの提起（学校給食費請求事件）】
同意したもの

●議案第56号 副市長の選任につき議会の同意を求めると

●議案第57号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めると

●議案第58号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めると

●議案第59号 監査委員の選任につき議会の同意を求めると

なお、議決した人事議案の内容は次のとおりです。

【副市長】

田中 秀哲 氏

【教育委員会委員】

片峯 誠 氏

大隈 恵子 氏

【監査委員】

宇都口 洋一 氏

議会に関する情報を
ホームページで
公開しています

議会のホームページでは、議
議の日程や議員名簿、委員会名
簿のほか、本会議の全文会議
録や、それぞれの常任委員会や
議会運営委員会、特別委員会の
全文会議録なども掲載していま
す。

飯塚市ホームページアドレス
http://www.city
y.iizuka.lg.jp
/giji/

議会を傍聴してみませんか。

本会議や委員会（委員会は
人数制限あり）はどなたでも
傍聴できます。

議場へは3階の傍聴席入口
のほか、4階からもご入場い
ただけます。

次回定例会は9月8日（水）
に開会の予定です。

日程の詳細については、議
会ホームページをご覧いた
だくか、議会事務局（電話
0948・22・0214）ま
でお問い合わせください。

平成21年度の政務調査費収支・実績に関する報告を公表します

政務調査費は会派または議員個人を対象とし、議員1人あたり月額4万円が交付され、
条例に定める用途基準に従って使用することとなっています。また残余がある場合は、
その額を返還することとなっています。

なお、この報告書は議会事務局で閲覧できます。

● **会派に交付**

会派名	所属議員名	交付額	残額
公明党	柴田加代子・田中裕二・人見隆文・八児雄二	1,920,000	504,968
新政会	後藤久磨生（4月から6月まで議員として在職）・瀬戸元 西秀人・秀村長利・古本俊克・松本友子	2,520,000	10,558
日本共産党	川上直喜・楡井莞爾	960,000	27,648

● **議員個人に交付**

議員名	交付額	残額	議員名	交付額	残額
東 広 喜	480,000	2,646	田 中 博 文	480,000	0
安 藤 茂 友	480,000	28,260	田 中 廣 文	480,000	45,580
市 場 義 久	480,000	0	道 祖 満	480,000	0
上 野 伸 五	480,000	0	永 末 壽	480,000	311,685
江 口 徹	480,000	0	永 露 仁	480,000	0
岡 部 透	480,000	30,505	原 田 佳 尚	480,000	0
梶 原 健 一	480,000	306,065	藤 浦 誠 一	480,000	0
兼 本 鉄 夫	480,000	0	藤 本 孝 一	480,000	0
木 下 昭 雄	480,000	262,960	森 山 元 昭	480,000	0
鯉 川 信 二	480,000	0	吉 田 義 之	480,000	10,631
佐 藤 清 和	480,000	0	芳 野 潮	480,000	13,450

※会派名・議員名共に50音順